

買い入れる地域防災無線機の概要

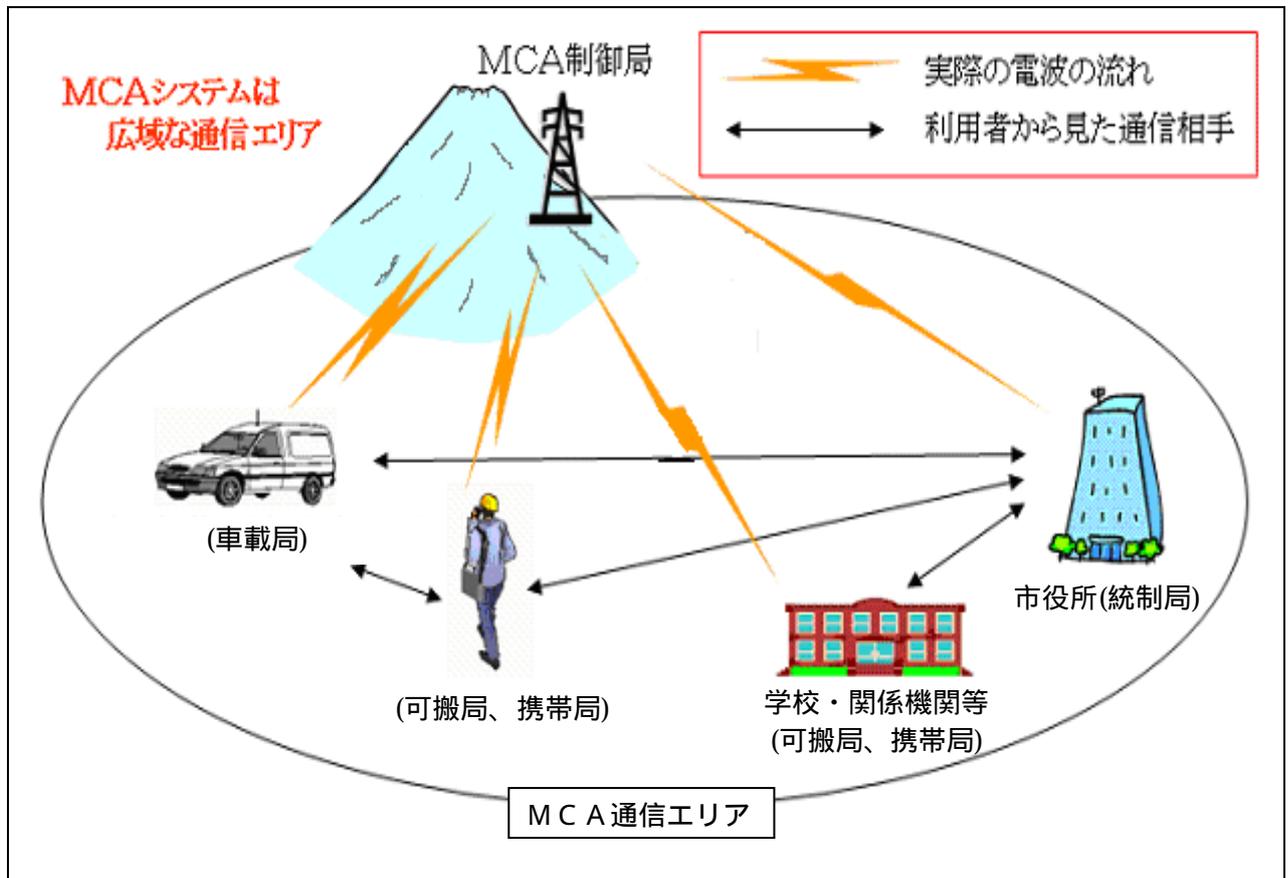
1 MCA無線とは

マルチチャンネルアクセスシステム

Multi Channel Access Systemの略で、複数の通信チャンネルを多数の利用者が共用することで、電波の有効利用と利便性を実現した業務用移動通信システムです。

システムは、事業主体が設置管理する「制御局」と、利用者が設置管理する「統制局」及び「移動局(可搬局、携帯局、車載局)」で構成されます。統制局・移動局間での直接通信は行われず、無線端末機から電波として発射された音声信号は、全て制御局に中継され各無線端末機に届けられます。

利用者は、同じ識別符号を持った事業所等のグループ単位ごとに無線通話を行うことができ、他のグループとは通話できないようになっています。



2 M C A無線の特徴

- (1) 中継局（制御局）は耐震性が高く（阪神・淡路大震災で実証）、非常用発電装置もあることから、災害時に有効に使用可能です。
- (2) 公衆通信網を利用していないので、災害時なども公衆網の輻輳・障害に影響されません。
- (3) 混信に強く、クリアな音質です。
- (4) 一対一の個別通信のほか、予め構成したグループ同士のグループ通信機能や、全局を呼び出す一斉通信機能を有します。

3 整備するM C A無線機の種類

(1) 統制局（3台）

災害等発生時の円滑な無線交信及び目的ごとの統制を適正かつ迅速に行うために、「情報収集・連絡用」、「消防団連絡用」、「防災関係機関等連絡用」の統制局3局を防災安全課（兼災害対策本部）に設置します。



(2) 可搬（半固定）局（49台）

可搬局は、停電時でも最低6時間継続使用できるバッテリーを備え、通常は固定して使用しますが、災害等の際には無線を持ち出して使用できるため、機動性が求められる事業所等に設置します。



(3) 携帯局（48台）

携帯局は、トランシーバー型の無線で、携帯性・機動性に富むことから、通常時及び災害等の際に、常に確実な連絡手段の確保が必要な職員又は事業所等に設置します。



(4) 車載局（30台）

災害等が発生した際には、車両による災害対策本部と連携した迅速・的確な情報収集及び危険情報、避難情報等の市民への伝達が必要となることから、車載用として整備します。

